

大阪は「まち」がほんまにおもしろい

おしてるや 咲くやこの花 浦江・大仁 ～王仁博士も文人墨客も眺めた花と夕陽～

淀川流域にあって、多くの島々が浮かび、砂洲が広がっていた浦江。杜若が咲き誇り、夕陽に照らされながら、美しい鷺が飛来して、了徳院や妙壽寺には数多くの文人墨客が訪れました。その浦江から、わが国に漢字と儒教を伝えたという王仁博士の墓の伝承地があったという大仁までを巡ります。



② 福島聖天通商店街

「売れても占い商店街」で有名な福島聖天通商店街は、ハナキンの宵には占い客で大いに賑わいます。また修学旅行生の商人体験などユニークな町おこしの発信地としても知られています。もともと福島聖天通商店街は、明治末のキタの大火以来、浦江聖天の参詣道として発展した通りです。

③ あみだ池筋

あみだ池筋を南に行くと福島西通りで、国道2号線(曾根崎通り)と交差します。さらに行けば田辺聖子の生家の写真館(戦災で焼失)があって、堂島大橋の鉄橋を渡れば中之島にたどり着きます。さらに南下すると、土佐堀、江戸堀、京町堀、立売堀で、あみだ池・和光寺に到達します。

④ 如意山了徳院(浦江聖天)

了徳院は、数ある芭蕉句碑の中でも、正真正銘の松尾芭蕉を祀る「杜若塚」がある浦江第一の名勝で、いまも境内の池の面には四季の花が映えます。とくに藤は、江戸時代中期から浪花名所案内にも載せられ、江戸の文人・蜀山人こと大田南畝も訪ねて日記に記しています。昔から庶民信仰が盛んで、株の相場師・遊女・商人たちが足繁く参った寺ですが、近世勤化本には、易の大家・水野南北の霊験譚が語られて、今日でも1日、15日には易者が占いを立て、聖天信仰と相俟って人心を惹いています。またロシアとの交渉に寄与した淡路の廻船人・高田屋嘉兵衛も日参したとの物語も記されていますが、投機的な生業に賭ける人々からの信仰が篤かったことが伺えます。いっぽう、水商売の仏様としても知られ、境内の玉垣・奉納品には曾根崎の芸妓の名前が刻まれています。

⑤ 妙壽寺

「浦江のとげぬき稲荷」の赤い幟の立つ妙壽寺は、座禅の道場で、禅寺です。広い本堂は、春秋の彼岸会、大施餓鬼などには壇信徒で賑わいます。近世以来、花の名所で、明治の半ば頃までは、萩の寺、蓮の寺として名所案内に記されていました。壇信徒共同墓壇の香炉には「蓮泉」の文字が刻まれていて、文人墨客の杖を曳く名所でもありました。閑寂な趣のある墓地には、近世後期源氏物語の研究者・萩原廣道の墓が遺されて、近代になってからも研究者による探墓の記録がみられます。また浦江の毘沙門天としても知られ、大店商人が稼業繁盛を祈願に参り、寄進した石造物の中には、大塩事件の明るる年に、この事件を鎮めた時の西町奉行・堀利堅が奉納した常夜燈が遺されていたりもします。春の彼岸の時には、大阪場所の宿舎とする伊勢の海部屋の力士たちが本堂で紹介されたりもします。

① JR 福島駅

JR福島駅の前身は、明治21年(1898)、旧西成鉄道の開業時に設置され、昭和39年(1964)に高架駅化されました。梅田停車場に近く、明治時代には光智院の裏手は人力車のタテバ・発着所で、駅界隈も昭和30年(1955)頃まで、輪タクが客待ちをしていました。古来、福島の地は、廻船人や船頭の住む村で、源義経「逆櫓の松」の伝説に基づく「ひらかな盛衰記」に登場する舟長・松右衛門、福島天満宮にまつわる菅原道真の潮待ちの伝説に語られる徳次郎などは、操船の技術に長けた人たちの伝承です。徳次郎の心温まるもてなしは、福島駅筋向かいのホテル阪神の天然温泉「徳次郎の湯」として語り継がれています。



⑥ 浦江八坂神社

素戔鳴尊神社とも称し、古地図には牛頭天王とあります。かつては宮座があって、昭和20年(1945)まで1月10日夜半には神饌を献じていました。境内には齋宮社があり、伊勢の齋宮女御の御祓地であったといわれています。また古来、八十島祭が行われていた田蓑島とも伝えられ、この伝承は、近世絵地図に井路川に圍繞された南浦江の田地の「古田蓑島」と符合します。境内に王仁社がありますが、明治45年(1912)に宇東神殿から現在地に遷宮してきたものです。漢字や儒教を日本に伝えたといわれる王仁氏の墓という伝承地が、かつて大仁(北区大淀中)にあったといわれています。

⑦ 浦江公園

素戔鳴尊神社を取り巻く公園です。一面に植った桜の木は、花見時分には人出で賑わいます。神社参道右手(南側)には、テニスコート、神社の北東部には野球場があり、スポーツ愛好者が楽しんでいます。

⑧ 大阪タワー

昭和41年(1966)に建てられたロケット発射台に似た電波塔ですが、平成20年(2008)6月23日、朝日放送が新社屋に移転して、解体予定です。展望台が102メートルの高さに設けられ、当時、通天閣をしのぐ高さとして、注目を浴びて観光客も訪れました。その後、この付近に続々と「ホテルプラザ」「ザ・シンフォニーホール」などが建ちましたが、現在、界限で営業を続けているのはザ・シンフォニーホールのみです。

⑨ 梅田スカイビル

大阪キタのランドマーク的な観光名所です。平成5年(1993)3月に竣工して、地上40階、高さ173メートルで、空中展望台からの眺望は絶景です。とくに大阪湾に沈む夕日、西梅田の高層ビル群の夜景はひとしおです。